

# 資料 2 - 1

## 財源の確保について

### (1) ふるさと納税について

#### ① 日本の心のふるさと出雲応援寄附金の実績

年度	寄附件数	寄附額〔歳入〕	事業への充当額〔歳出〕
H30	20,575 件	326,057,047 円	365,070,000 円
H31	24,451 件	397,698,344 円	329,000,000 円
R2	20,232 件	495,971,545 円	391,200,000 円
R3	22,802 件	717,203,790 円 (災害寄附を含む)	492,000,000 円 3,588,801 円(災害寄附)

※寄附の使い道については別紙参照

#### ② 日本の心のふるさと出雲応援寄附に係る事務費

年度	事務費（決算書）	主な内容
H30	149,115,592 円	* 返礼品(特産品等)の調達と送料 * 寄附ポータルサイト手数料 * クレジット等手数料 * パンフ・封筒・郵券代等事務費
H31	184,715,901 円	
R2	218,569,112 円	
R3	318,673,229 円	

H30 総務大臣通知により、人件費を含む事務費を寄附額の 5 割以下とする。

#### ③ 寄附の受け入れルート（令和 3 年度寄附）

	全体寄附	サイト経由		市直納	
			%		%
件数（件）	22,802	22,088	96.87	714	3.13
寄附額（円）	717,203,790	688,840,190	96.05	28,363,600	3.95

※サイト手数料とサイト経由の寄附額に対する割合

サイト手数料	55,329,341 円	寄附額に対する割合	8.03%
--------	--------------	-----------	-------

④ 返礼品の総数と契約業者数（旅行プランを除く）

年度	返礼品総数	契約業者数	備考
H30	327品目	61業者	
H31	379品目	62業者	
R2	400品目	66業者	11/20パソコン
R3	441品目	68業者	
R4	521品目(当初)	72業者(当初)	

⑤ 納税ポータルサイトの運用について

サイト名称	導入年度	特徴
ふるさとチョイス	H26	掲載自治体数が最大
ふるなび	H30	パソコンの掲載が可能で導入
楽天ふるさと納税	R3.9	還元率が高く、導入自治体も増加
さとふる	R4.4	還元率が高く、導入自治体も増加

⑥ 返礼品パソコンがもたらした影響

H31	全体寄附	パソコン		パソコン以外	
			%		%
件数(件)	24,451	—		24,451	100
寄附額(円)	397,698,344	—		397,698,344	100

R2	全体寄附	パソコン		パソコン以外	
		11/20～1/末	%		%
件数(件)	20,232	237	1.17	19,995	98.83
寄附額(円)	495,971,545	161,320,000	32.53	334,651,545	67.47

R3	全体寄附	パソコン		パソコン以外	
		5/初～2/中	%		%
件数(件)	22,802	556	2.44	22,246	97.56
寄附額(円)	717,203,790	353,160,330	49.24	364,043,460	50.76

⑦ 令和3年度の取組

- 1) パソコンを数量限定で掲載依頼（部品不足で提供困難であったが、数量限定でご協力いただいた。）
- 2) 定期便の取組み
- 3) 楽天サイトの導入（サイト運営を外部委託）
- 4) 寄附金額を千円単位で細分化し、返礼品の提案を促した
- 5) オンラインイベント感謝祭への参加、雑誌などへの広告掲載
- 6) 旅行商品（トラベルポイント導入）への取組み（ふるなびトラベル、楽天トラベル）
- 7) 災害支援寄附を迅速に募った（ふるさとチョイス、ふるなび）
- 8) メールマガジン（希望者のみ）の定期的配信に努めた
- 9) 11月にH31・H30に納付書で寄附いただいていた方へ、継続寄附依頼
- 10) テーマ（SDGs、コロナ被害事業者応援）に応じた返礼品の認定・・・（わけアリシャインマスクット粒っこ、多伎干しいちじく業務用、ペット用出雲イノシシ肉のフレーク）

【継続して実施している広報活動等】

- \*前年度寄附者への継続寄附お願い文書の発送
- \*職員による知人・親戚等への寄附お願い手紙の発送
- \*市HP、市広報（帰省時期）や、各種メディアを使用しての呼びかけ
- \*出身者会等への呼びかけ

⑧ 令和4年度の取組（予定を含む）

- 1) さとふるサイトの導入（R4.4.28～）
- 2) 定期便の年度当初からの取組
- 3) 体験型返礼品として、旅行クーポンを再開
- 4) 「出雲市電子感謝券」の導入（7月19日から利用開始）・・・「旅先納税」をコンセプトに、寄附金額に応じた電子感謝券（電子ポイント）を付与し、飲食店、体験、宿泊施設等の加盟店での支払いに利用。
- 5) 楽天ふるさと納税サイトの運営について外部委託（7月から）
- 6) ふるさとチョイス大感謝祭（関東地域でリアルイベント）への参加
- 7) 市のふるさと納税HPで、直接寄付できるサイトへリニューアル
- 8) 返礼品事業者を訪問し、より密な連携をとるよう努めるとともに、新規事業者の開拓も手掛けていきたい

## (2) クラウドファンディング事業について

### ① ガバメントクラウドファンディング事業への取組

R3.11.17：説明会の開催（R4 予算要求に向け、各課へ制度説明）

➡ガバメントクラウドファンディング（GCF）とは・・・

- ・自治体が使い道を明確に示したうえで寄附を募る、ふるさと納税の適用となるクラウドファンディング

➡通常のクラウドファンディング（CF）との違いは・・・

	GCF	通常のCF
プロジェクトオーナー	自治体（信頼度が高い）	個人～法人
税控除	ふるさと納税で控除	税額控除対象外
寄附額平均	20,000円～25,000円	3,000円～5000円が多い
方式	全て決済され入金	目標達成時のみ入金
利用目的	地域の課題解決や魅力の発信	個人の趣味から新規ビジネスまで様々な目的

➡ガバメントクラウドファンディングに取り組むメリット

- ・地域の課題解決や未来づくりの点での資金調達を実現
- ・寄付金の使い道に共感した自治体ファンの獲得（応援コミュニティ）
- ・地域内外へのプロモーションを通しプロジェクト協力者を獲得

### ② 取組みの現状

\*現段階、各課において検討中。

\*事業が具体化すれば、事業主体は事業実施担当課で、写真や記事など準備し、サイトで募集。縁結び定住課においては、通常のふるさと納税と同様に、寄附の納入の手続きや、それに伴う返礼品の手配（予算も含めて）など、寄附者の窓口としての手続きを行う。集まった寄附を財源に事業を実施するのは担当課が行う。